

総合交通メールマガジン

第64号

平成25年12月6日発行

発行元：国土交通省 総合政策局

総務課（総合交通体系グループ）



目次

総合交通メールマガジンとは

Topics

- ◆九州 IT&ITS 利活用推進協議会（QPITS）の取り組みについて
（九州 IT&ITS 利活用推進協議会（QPITS））
- ◆静岡県における ITS の取り組みについて
（静岡県 交通基盤部 道路局）

イベント紹介

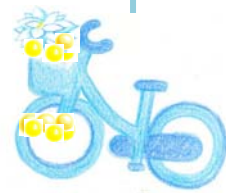
- ◆【12/11~12/13 開催】「TRONSHOW2014」が、東京ミッドタウンで開催されます。

総合交通体系グループだより

- ◆【開催報告】総合交通体系（地域モビリティ戦略）研修について
（国土交通省 総合政策局 総務課）
- ◆福島県（福島市）地区ユニバーサル社会に対応した歩行者移動支援に関する現地事業
（土湯温泉町復興再生協議会）

Information

- ◆総合交通メールマガジンへのご意見をお寄せ下さい！
- ◆地域の取り組み及びイベント案内 募集！！
- ◆～受付窓口の変更がありましたらご連絡ください～





総合交通メールマガジンとは

総合交通メールマガジンは、交通基盤整備や地域交通に関する最新の取り組みを幅広く紹介することを目的として、月一回を目処に発行しているメールマガジンであり、主な購読者は都道府県、市町村等の交通施策担当者となっております。

当メールマガジンで紹介させていただく記事については、執筆者が任意の協力のもとで作成したものであり、成果を広く共有する観点から、二次的利用も可能な形式で掲載しております。

《総合交通メールマガジンのバックナンバーはこちら↓》

http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/seisakutokatsu_soukou_tk_000005.html



Topics

◆九州 IT&ITS 利活用推進協議会（QPITS）の取り組みについて

（九州 IT&ITS 利活用推進協議会（QPITS））

平成25年7月、九州地方におけるIT及びITS技術の普及、IT及びITS関連企業の振興、ITSを活かしたまちづくり等を趣旨として、九州地方を拠点に活動する産官学の関係機関が中心となって任意団体「九州 IT&ITS 利活用推進協議会」が設立されました。

当該協議会の目的と主な活動内容は、以下のとおりです。

【目的】

九州地域におけるインフラ整備、ビジネスサービス、エンドユーザサービスなどを含め、社会サービスの安心・安全、利便性、効率性、付加価値の向上などを目的に、最先端の情報技術を核に、人と道路と移動体（自動車等）とを一体のシステムとする道路交通システム（ITS）を一つの基盤として、新技術・サービス・産業の調査・研究、および普及・啓発を図る。

また、協議会関連事業を推進することを通じて、地域住民の生活向上、九州地方そして日本の経済、産業の発展、海外への日本ブランドの発信と産業の輸出に寄与する。

【主な活動内容】

- ・ IT及びITS関連機関・企業からの情報収集
- ・ 地域におけるIT及びITSの必要性・可能性に関する研究





- ・地域住民に対するIT及びITSの普及啓発活動
- ・地域におけるIT及びITSの関連産業の振興
- ・IT及びITS技術・アイデアの総合的なネットワークの構築 等

《九州IT&ITS利活用推進協議会(QPITS)の概要はこちら↓》

<http://www.ml.it.go.jp/sogoseisaku/soukou/soukou-magazine/1311qpits1.pdf>

《九州IT&ITS利活用推進協議会(QPITS)の事業計画はこちら↓》

<http://www.ml.it.go.jp/sogoseisaku/soukou/soukou-magazine/1311qpits2.pdf>

◆静岡県におけるITSの取り組みについて

(静岡県 交通基盤部 道路局)

静岡県(交通基盤部道路局)では、ITSに係る取り組みとして、各道路管理者が持つ県内の道路情報を共有し、県民に通行規制情報を提供する「静岡県道路通行規制情報管理提供システム」や、交通情報を扱う道路管理者や交通事業者の携帯サイトのリンク集となる陸海空の“みち”ポータルサイト「みちなびしずおか」を運営しています。

また、新東名高速道路の県内区間が開通するなど、更なるITS活用の場が広がってきたことから、平成25年3月に「ふじのくに静岡ITS推進協議会」を設立しました。当該協議会は、「誰でも、どこでも快適に移動できる社会」を実現するため、ITSの最新技術の情報を共有し、静岡県におけるITSの推進を図ることを目的としています。設立後は、「トヨタ東富士実験場の視察」、「『ITSセミナーinふじのくに』の開催」、「ゆずりあいロード支援システムの導入」、「Twitterによる富士山マイカー規制乗換駐車場情報提供」、「第20回ITS世界会議東京2013への出展」等の活動をしています。

今後は、自動運転、ETC、カーナビゲーションなどの全国的なITSに係る取組と並行して、「ゆずりあいロード支援システム」や「Twitterによる富士山マイカー規制乗換駐車場情報提供」のように、地域の課題に対するITSの活用の可能性を研究し、対応可能なことから取り組んでいきます。

《記事はこちら↓》

<http://www.ml.it.go.jp/sogoseisaku/soukou/soukou-magazine/1311shizuokaken.pdf>





イベント等紹介

◆【12/11～12/13 開催】「TRONSHOW2014」が、東京ミッドタウンで開催されます。

トロン（TRON: The Real-Time Operating system Nucleus）とは、理想的なコンピュータアーキテクチャの構築を目的として、東京大学 情報学環教授の坂村健先生によって提案されたオペレーティングシステムです。現在では、家電製品、携帯電話、自動車などの小型コンピュータに搭載され、広く利用されています。

今年度も、T-Engine フォーラム主催により「TRONSHOW2014」が開催され（開催期間：12月11日（水）～12月13日（金））、トロンに係る成果の展示、基調講演等が行われる予定です。特に展示会では、「次世代リアルタイムシステム展」と「ユビキタス・コンピューティング展」の2つの展示会が予定され、「次世代リアルタイムシステム展」では、最新の組み込み機器開発環境やミドルウェア、応用製品例などが展示、「ユビキタス・コンピューティング展」では、ユビキタス関連のタグやリーダーライタ、端末、ソリューション、適用事例などが展示される予定です。また、海外や政府・自治体の取り組みを紹介する「海外、政府・自治体パビリオン」、教育研究機関での成果を紹介する「学会会員ブース」も併設される予定です。

なお、トロンプロジェクトが目指す「どこでもコンピューター」（ユビキタスコンピューティング）の取組みとして、国土交通省において「ICTを活用した歩行者移動支援」が推進されています。ユニバーサル社会の実現のため、バリアフリーのハード整備を補完する最適な移動経路が把握できる情報社会の実現が重要ですが、本分野では、様々な利用者の情報ニーズを満たす多様なサービス開発を促す観点から、公共データのオープン化の活用が検討されているところです。

また、これとは別に、公共交通の運行情報などを活用したオープンデータ社会実験などが行われています。

本プロジェクトでは、これらの取り組みに対し技術的なサポートを行っています。

《「TRONSHOW2014」のウェブサイトはこちら↓》

<http://www.tronshow.org/>





総合交通体系グループだより

◆【開催報告】総合交通体系（地域モビリティ戦略）研修について

（国土交通省 総合政策局 総務課）

総合交通体系（地域モビリティ戦略）研修は、生活に必要な交通、地域における人の円滑な移動の確保（地域モビリティ）に関する計画の企画立案能力の向上及び交通関係者との連携調整・施策推進などのマネジメント能力の向上を図ることを目的とした研修です。



今年度は、11月26日（火）から11月29日（金）

の4日間にわたり無事開催させて頂きました。昨年以上に充実した研修とするべく、講師（学識経験者、地方公共団体、公益法人）の方々による講義、都市計画事業（首都高中央環状線改良工事）の現場見学、課題研究（班別討議）と多岐にわたる内容を取り入れ、研修員からも概ね好評を得たところです。ご協力頂きました講師の方々、現地視察に対応頂いたの方々、国土交通大学校の方々に、厚く御礼申し上げます。

以下、当該研修の講義資料等について情報提供させて頂きます。研修に参加することの出来なかった方々にも貴重な情報かと思えます。ファイルはデータ容量が大きいものもありますが、是非ご覧頂ければと思います。

【講義資料】（カリキュラム順）

URL をクリック頂くと講義資料ご覧いただけます。（ ）内はデータ容量

- ・国土交通省 総合政策局 総務課 政策企画官（総合交通体系担当） 島村 喜一
「総合交通体系と地域モビリティ戦略について」（5.2MB）
<http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/soukou-magazine/kenshuu1.pdf>
- ・一般社団法人 日本カーシェアリング協会 代表理事 吉澤 武彦
「被災地における地域交通の確保」（0.1MB）
<http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/soukou-magazine/kenshuu2.pdf>
- ・八戸市 都市整備部 都市政策課 主査 井上 幸光
「八戸市における公共交通マネジメント」（3.1MB）
<http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/soukou-magazine/kenshuu3.pdf>
「災害時のモビリティ確保に向けた取組み」（2.7MB）
<http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/soukou-magazine/kenshuu4.pdf>





- ・国土交通省 総合政策局 公共交通政策部 専門官 森田 有一

「公共交通政策と交通政策基本法案」(3.1MB)

<http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/soukou-magazine/kenshuu5.pdf>

- ・神戸大学大学院 工学研究科 市民工学専攻 教授 小池 淳司

「地域モビリティ戦略を検討するにあたって」(5.7MB)

<http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/soukou-magazine/kenshuu6.pdf>

「土地利用・交通分野の低炭素効果の推計手法」(4.3MB)

<http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/soukou-magazine/kenshuu7.pdf>

◆福島県（福島市）地区ユニバーサル社会に対応した歩行者移動支援に関する 現地事業

（土湯温泉町復興再生協議会）

土湯温泉町復興再生協議会では、「平成25年度 ユニバーサル社会に対応した歩行者移動支援に関する現地事業」実施箇所の選定を受け、土湯温泉地区を来訪するこの地に不慣れな観光客、高齢者、車いす使用者、ベビーカー利用者等に対して、施設入口までのバリアフリールートの表示・案内を行うとともに、地区内の主要施設やバス運行状況などの観光案内と一体となった、新しい歩行者移動支援サービス（「土湯なび」と命名）の導入を目指した実証実験を開始しました。サービス開始後の一週間後においては、利用者数は100人/日（アクセス実人数）となっています。

今後は、モニター調査やWebアンケート、「土湯なび」検討会での議論などを通じて、システムの改良やコンテンツの充実を図りながら、継続的な運用に結びつけたいと考えています。

《記事はこちらから↓》

<http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/soukou-magazine/1311tsuchiyuonsen.pdf>



Information

◆総合交通メールマガジンへのご意見をお寄せ下さい！

総合交通メールマガジンでは、読者の皆様からのご意見・ご要望を踏まえて内容を充実させていきたいと考えています。誌面の感想、取り上げて欲しいテーマなど、どのようなことでも構いませんので、ご意見等頂けると幸いです。様式、送付先については、下記URLをご利用下さい。





URL: <http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/soukou-magazine/iken-merumaga.xls>

引き続き、メールマガジンの受付窓口が変更になった行政機関等の方については、送信先の変更を申請下さい。なお、変更内容については、以下までお願いします。

E-mail : soukou@mlit.go.jp

◆地域の取り組み 及び イベント案内 募集！！

当課では、情報提供頂いた取り組みをメールマガジンで紹介することにより、各地域でノウハウ等の情報共有・情報交換ができればと考えており、総合的な交通施策の取り組みについて情報提供頂ける自治体等を募集しています。自薦・他薦は問いませんので、お気軽にご連絡下さい。更に、イベント案内について、主催者でも結構ですし、耳より情報でも結構です。勉強会や講演会、セミナー等ご紹介頂ければ、当メールマガジンにて案内をさせていただきます。

(情報提供はこちらまで soukou@mlit.go.jp)

【情報提供頂く内容】

例えば、

- ・ 低炭素社会の実現に向けモビリティのあり方を見直す取り組み（交通の再編等）
- ・ 交通の改善により地域活性化を図る取り組み など

※ これまでに、推薦頂いたものも含めて76件の取り組みを紹介させていただきました。

バックナンバー一覧：

http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/seisakutokatsu_soukou_tk_000005.html

◆受付窓口の変更がありましたらご連絡ください。

人事異動等により、メールマガジンの受付窓口が変更になった行政機関等の方については、送信先の変更をご連絡願います。なお、他部署でも楽しんで頂けるよう努めて参りますので、引き続きのご購読も歓迎いたします。（連絡先の追加でも結構です）

なお、変更内容については、下記連絡先までお願いします。

E-mail : soukou@mlit.go.jp





【問い合わせ先】

国土交通省 総合政策局 総務課（総合交通体系グループ） 中川 敏正

TEL : 03-5253-8111（内線53-113）

FAX : 03-5253-1675

E-mail : soukou@mlit.go.jp

URL : <http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/index.html>

